

1. 「SAJ スキー指導者規程」に示されている以下の条項を記しなさい。
資格の停止 資格の喪失
2. 2007 年インタースキーについて記しなさい。
開催国 開催テーマ
3. レルヒ少佐の「日本でのスキー活動の概要」と「スキー技術の特徴」について記しなさい。
4. 「SAJ スキー公認検定員規程」に示されている「検定の範囲」を記しなさい。
A 級検定員 B 級検定員 C 級検定員
5. 2007 年度 SAJ 教育本部の活動の基軸である「I LOVE SNOW」キャンペーンにおける、
「I LOVE SNOW」が提供する 4 つの要素を記しなさい。

6. A 群の語句に対応する語句を B 群から選び、その記号を記しなさい。

A 群	スキーヤーの上位目的 上位目的達成手段としての下位目的 下位目的達成の手段	B 群	ア. スキー技術 イ. スキーの楽しさ ウ. 技術指導
-----	---	-----	-----------------------------------

7. 高度情報化社会において、スキー指導者は環境を受け入れるだけでなく、環境に働きかけなければならないといわれる。それは、外部の情報をどう処理することか記しなさい。
8. スキーを滑らせる力である「重力の成分」について記しなさい。
9. 「スキー技術の考え方」における「人間のエネルギー」と「自然のエネルギー」の考え方、及び「指導論における留意点」を記しなさい。
10. スキー技術における「心理的エネルギー」について記しなさい。
11. ターン運動が合理的におこなわれるためのスキーヤーの身体運動はどのように特徴づけられるか。「テールコントロール」、「トップ&テールコントロール」、「トップコントロール」それぞれについて、3 つずつ記しなさい。
12. スキー学習を計画するときの指導者の役割について、文中の「かっこ内」にあてはまる適当な語句を記しなさい。
スキー学習は、一つのグループを、おおよそ（ア）～（イ）名で構成するのが望ましい。そのグループは（ウ）別に編成するのは前提条件である。しかしながら、その編成においては、学習者の（エ）に配慮することも重要である。
13. 良いスキー学習を実現するために、学習の内容的条件をサポートする基礎的条件として、どのような条件の整備が必要であるか。5 つの観点を記しなさい。
14. アルペン競技における競技委員長の任務を記しなさい。
15. 国際スキー競技会における「フリースタイルの種目名」を記しなさい。

16. 下記はアルペンスキーで求められる体力について記載したものである。カッコ内にあてはまる適当な語句、数字を記しなさい。

行動を(ア)する能力	(イ)	<有酸素能力>
行動を起こす能力	(ウ)	
行動を調整する能力	柔軟性	
	(エ)	姿勢反射
		(オ)
		(カ)
	巧緻性	状況掌握能力
		動きの(キ)
		動きの(ク)
		(ケ)

17. スノースポーツを楽しむ人の安全能力について、文中のカッコ内にあてはまる適当な語句を記しなさい。

事故を防ぐためには、まず事故の(ア)を理解し、何が事故発生に結びつくかを判断できる(イ)を高めることが必要である。

また、予測された事故発生に結びつくであろうと思われるさまざまな要因・要素を取り除いたり、改善したり、回避したり、技術的にクリアする(ウ)も必要になる。

たとえば(エ)の悪いときには、スピードを出さないように心掛けたり、自分の技能では到底無理な急斜面は、(オ)するとかなどである。

18. スノースポーツ外傷の救急処置について正しいものを選び、その記号を記しなさい。

救助者が守らなければならないこと

ア 救助者自身の安全よりも、救助を優先させる。

イ 患者の生死の判定は、医師でなくても行ってよい。

ウ 原則として医薬品の使用はしないこと。

救急法を実施するときの全般的注意

ア 一度に多数の患者が発生したときは、軽度の外傷の患者から優先して行う。

イ 一人の患者がいくつかの傷病を合併して生じている場合は、緊急性の高いものから先に手当てをする。

ウ 手当ての基本では、患者をよく観察し、話しかけ、患者に触れずに医師の到着を待つ。

19. 次の用語の説明を記しなさい。

荷重	エッジング	全習法と分習法
サードエイジ	スランプ	バックカントリースキー
クラック	コンケーブ	サン・クラスト
スノースクート		

20. 次のテーマのうち、一つを選んであなたの考えを 500 字以内で述べなさい。

準指導員資格受検の動機

スキー指導者の資質

子どものスキー指導

中高年のスキー指導